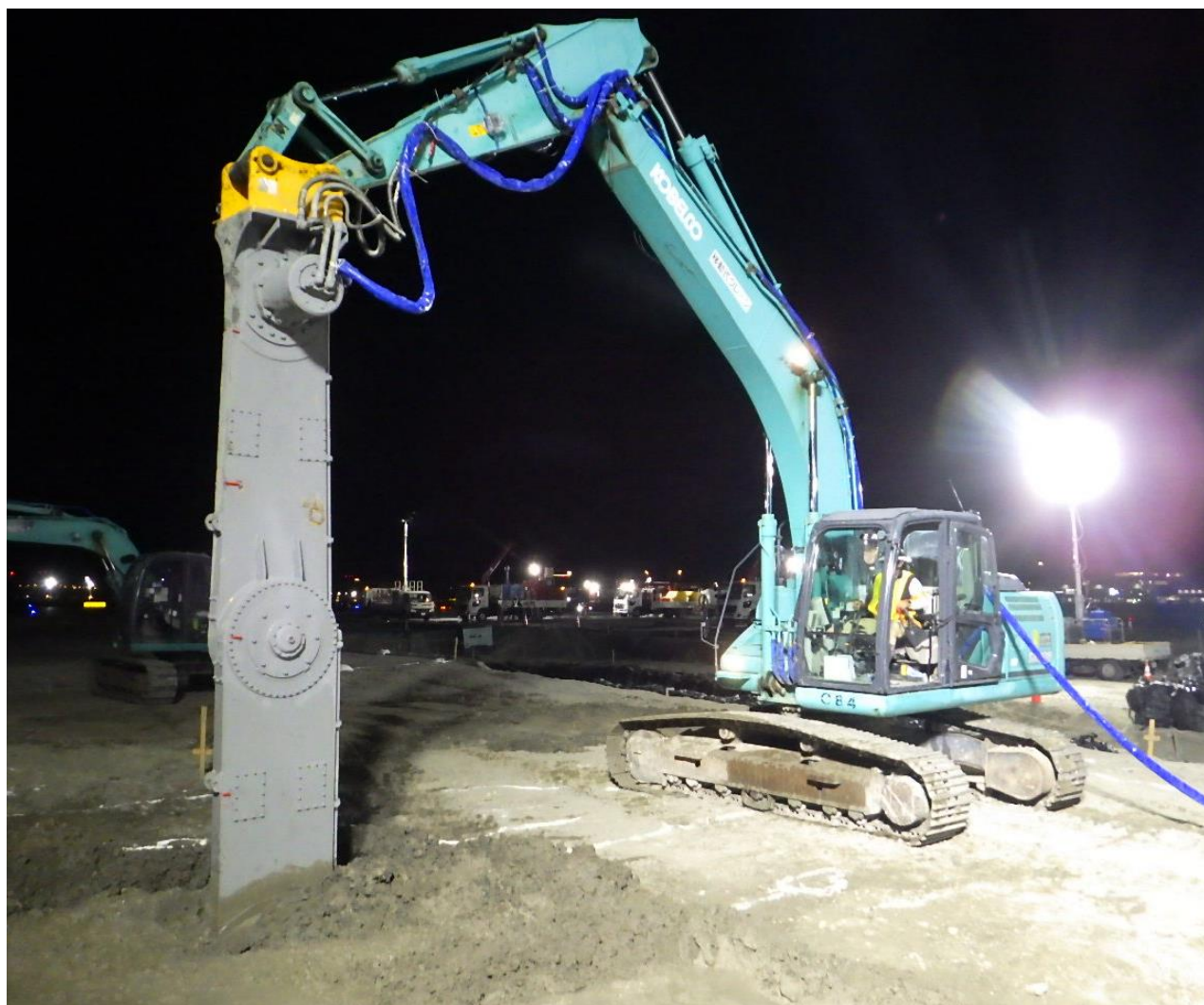


## 公共インフラ整備に貢献する地盤改良工

### — W I L L 工 法 —



WILL工法は、バックホウタイプベースマシンの先端に取り付けた特殊な攪拌翼よりスラリー状の固化材や改良材を注入しながら、固化材と原位置土を強制的に攪拌混合し、安定した改良体を形成する工法です。

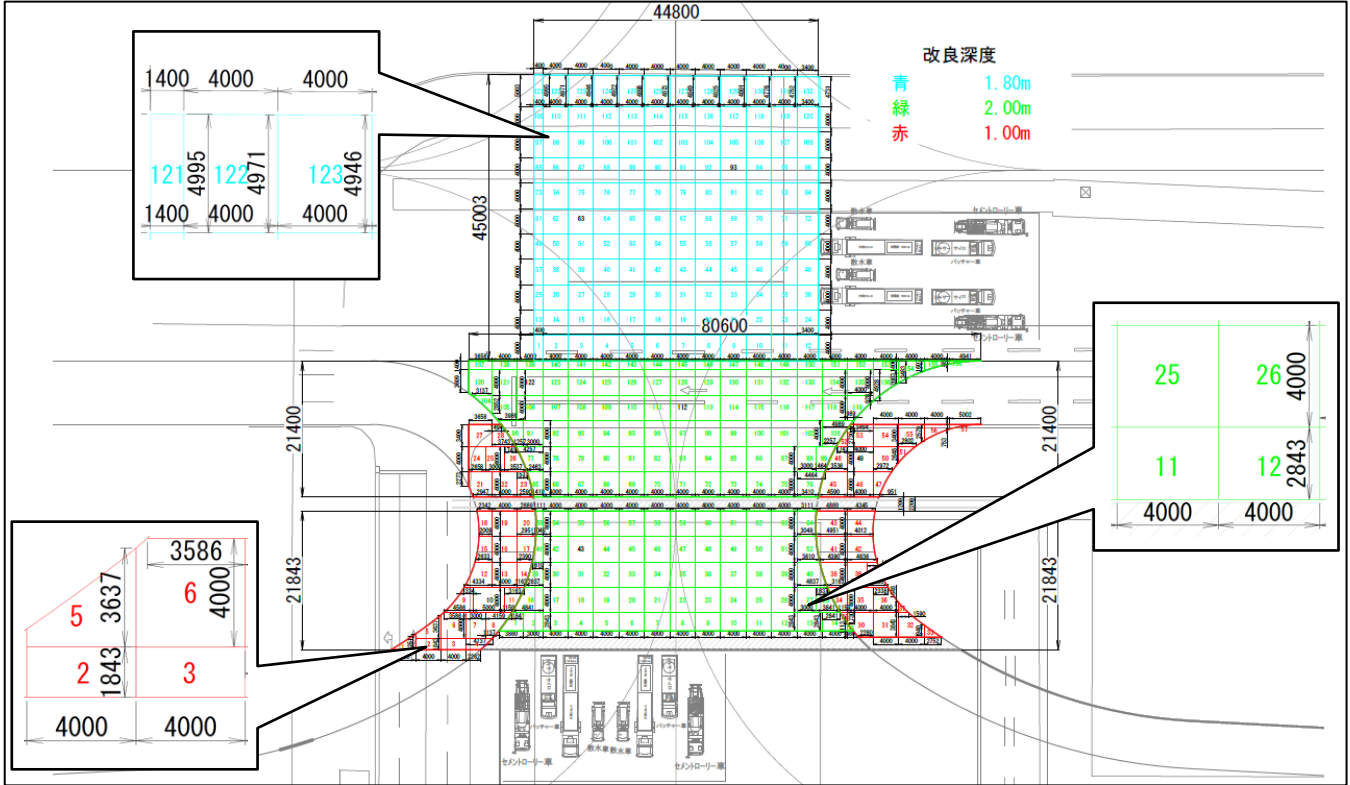
当現場は夜間作業のみで、昼間はプラントを含め施工箇所から撤去しなければならない条件のため、機動性が高いWILL工法が採用されました。またプラントは車上プラントを採用し施工箇所から容易に移動できる設備とすることで条件をクリアしました。

#### 施 工 数 量

使 用 固 化 材	高炉セメントB種
設 計 強 度	323 kN/m <sup>2</sup>
セメント配合量	135 kg/m <sup>3</sup>
改 良 深 度	1.0～2.0 m
改 良 土 量	8,457.05 m <sup>3</sup>



施工計画平面図



車上プラント



施工状況

事後調査結果



一軸圧縮強さ(σ <sub>28</sub> )		
検 体 数	9 本	
設 計 強 度	323 kN/m <sup>2</sup>	
現 場 強 度	最 大 値	7,542 kN/m <sup>2</sup>
	最 小 値	3,413 kN/m <sup>2</sup>
	平 均 値	5,484 kN/m <sup>2</sup>

